



2024年4月16日

## 陣容拡大によるオフィス移転を実施。 物流2024年問題へのアプローチを加速させます！

新オフィスお披露目会で株主からも大きな期待

自動運転技術を活用することで物流インフラの維持・改善を目指す 株式会社 T2 (代表取締役 CEO: 森本成城)は、4月1日に本社オフィスを移転。日比谷国際ビル(〒100-0011 東京都千代田区幸町2丁目2-3)1Fを新たな拠点とし、物流2024年問題などの社会課題解決に向けたアプローチを加速させていきます。



## ■順調な陣容拡大による移転



当社は2022年の設立以後、資金調達は順調に進めており採用も加速させています。特に2023年後半から陣容は急拡大しました。現状50人を超えるメンバーが余裕を持って業務に取り組めるよう、本社オフィス移転を決定。八丁堀にあった旧オフィスに比べ、新オフィスは約3倍のスペースとなっています。

## ■3つの会議室にTechスペースも



新オフィスには3つのミーティングルームに加え、テレカンブース2室があります。また、自動運転に必要なセンサー等の机上テストができるTechスペースを完備。メインフロアの一角は、社員同士の議論や交流を促進させるカフェコーナーも併設しています。

■4月3日お披露目会開催。多数の株主が参加し当社メンバーと交流



当社では4月3日に株主を招き、新オフィスお披露目会を開催しました。森本社長は「新たな拠点で事業を推進し、世の中にT2という名前を広めていきたい」とし「我々の事業は国益に資するチャレンジ。このオフィスで働く時間を有意義なものにしてもらいたい」と新オフィスへの想いを伝えました。



乾杯の音頭をとったのは株主でもある三菱地所株式会社の物流施設事業部長、荒木康至氏。「良いオフィスが完成したと実感している。物流2024年問題など様々な課題はあるが、T2には優れた技術力や開発力というアドバンテージを持っている。ぜひ、この場所で良い仕事をしてほしい」と期待を寄せていました。



また、T2を設立した三井物産株式会社でフレートモビリティソリューション事業部長を務める堀大輔氏は「T2のメンバーはそれぞれバックグラウンドが違い、多様性に溢れている。今回、直接会って話したことで、ますます成長への確信を深めることができた。資金、人、そしてスペースが揃った今、株主としてより一層期待したい」と語りました。

## ■新オフィスの名称は「T2-H Base」に決定！

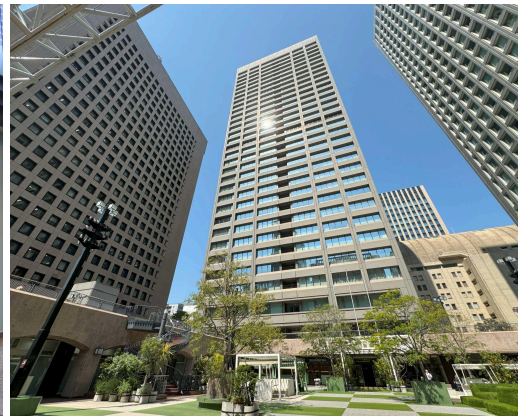
お披露目会当日は新オフィスと会議室、Techスペース並びに神奈川県座間市にある拠点の名称コンテストも実施。リアルタイム投票の結果、新オフィスの名称は「T2-H Base(ティーツーエイチベース)」に決定しました。また、実際のトラックなどを保管する技術拠点である座間オフィスについては「Zama Tech Base(ザマテックベース)」と名付けられました。

本社会議室の名称は、ミーティングルーム(大)が「スギ」、ミーティングルーム(中)が「イチョウ」、ミーティングルーム(小)が「ハナノキ」、テックスペースが「モクセイ」に決まりました。「T2も大樹のように力強く成長して欲しい」という想いを込め、東京大阪間を通る「都道府県の木」より名付けました。

### フォトギャラリー



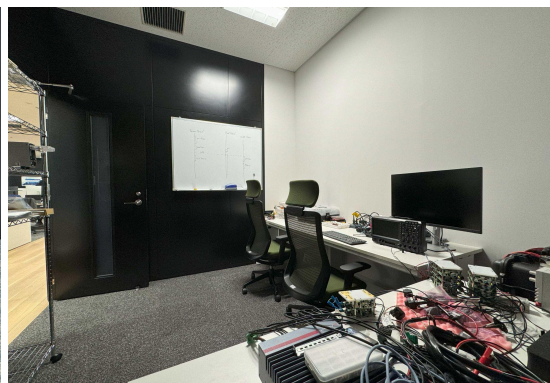
T2-H Base外観



日比谷国際ビル外観



会議室大(スギ)



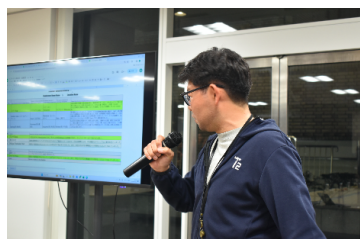
Techスペース(モクセイ)



オフィス移転記念のタンブラー



カフェスペース



お披露目会で株主や他部署との交流を深めたT2メンバー



盛り上がりを見せた4月3日の新オフィスお披露目会。当社は新たなオフィスで、日本の社会課題解決に向けた取り組みをさらに加速させていきます。

このリリースに関するお問い合わせはこちらへ

Mail: [pr@t2.auto](mailto:pr@t2.auto)

Web フォーム: <https://forms.gle/T9xd7v4eRncmVx3y7>